



「できる!」が輝く、地域の輪 ～みんなつながれ、もっとひろがれ、支援のWA!～ 東海特別支援教育カンファレンス2019



新学習指導要領が告示されたばかり、教育全体が大きく動き出したところでのカンファレンスとなります。ここでもう一度、知識・技術とともに、支援のあり方を一緒に考えられる機会にしたいと思います。「自分が同じ立場だったら～」という「自分事」として想像し考え、寄り添う姿勢を再確認しながら、ぬくもりのあるカンファレンスにしたいと考えています。



実行委員長 新井雅人
(愛知県あま市立小学校教諭)

日時：6月16日(日)

9:30-16:45 (受付9時～)

場所：日本福祉大学 東海キャンパス

(愛知県東海市大田町川南新田 229 番地)

参加費：2500円(資料代含む)

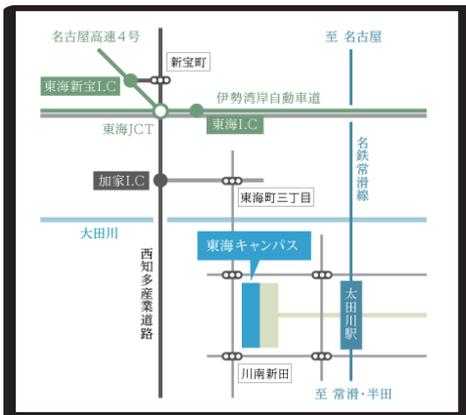
※何らかの支援・配慮が必要な方はお申し出ください。

可能な範囲で対応いたします。

※介助者同伴の方は、介助者分無料にします

※特別支援教育や福祉に関わる学生対象に学生割引あります。

※ワークショップでは実費がかかります。



「名古屋駅」から名鉄常滑線で約17分「太田川駅」下車。駅より徒歩で約5分

モノづくりワークショップ



渡辺 崇史 (日本福祉大学 教授)

ワークショップ「3Dプリンタを使ったデジタルモノ作り」

相談会「スイッチ・支援機器なんでも相談会」



製作会「micro:bit でスイッチインターフェースを作ろう!」

※iPhone もしくは iPad をお持ちの方はご持参ください
まほろば (パリアフリーパソコンサポート)



製作会「スイッチ&スイッチイを作ってみよう」

(棒スイッチ、おにぎりVOCA、BDアダプター等製作予定)
Bo-Zu Denki (岐阜県 特別支援学校 教諭)

肢体不自由・重度重複



金森 克浩 (日本福祉大学 教授) 【ICT 活用】

「特別支援教育に役立つ『kinta のブログ』の使い方入門



大杉 成喜 (皇學館大学 教授) 【支援技術・ちよいテク】

「体験・視線+スイッチで e スポーツ 出張マリカ部 (仮)」



伊藤 史人 (島根大学 助教) 【視線入力】

「視線入力訓練、『風船割り』の先へ」



福島 勇 (福岡県 特別支援学校 教諭) 【iPad 活用】

ワークショップ「肢体不自由教育に役立つ iPad のアクセシビリティ機能」
※iPad (iOS11 以降) をお持ちの方はご持参ください



高松 崇 (支援機器普及促進協会 理事長) 【ICT 活用】

「今の時代に、地域支援に必要な引き出しとは…」



奥田 太郎 (南山大学 教授) 【哲学対話】

哲学対話シリーズ第2弾「寄り添うってどういうこと？」



安本 志帆 (CLAF A 代表) 【哲学対話】

哲学対話シリーズ第2弾「寄り添うってどういうこと？」



小倉 靖範 (愛知教育大学 講師) 【新学習指導要領】

「カリキュラムマネジメントで、授業が変わり、学校が変わった」



奥平 綾子 (おめめどう代表取締役) 【自閉症・発達障害】

「非常時の支援と工夫～実際にコミュメモを書いてみよう」



篠原 大一 (たすく豊橋教室 教室長) 【発達障害】

「発達障がいのある子どもたちのチャレンジを支えるために4」



植木 昭晴 (愛知県 特別支援学校 教諭) 【動作法】

「身体の不しぎ体験!」



いえいく。会 【ICT 活用】 【発達障害】

「東海市における発達障害のある子どもの ICT 活用」

他にも支援機器展示・実践発表・事例紹介等 (順不同・敬称略)

主催：東海特別支援教育カンファレンス実行委員会 共催：日本教育情報学会特別支援教育 AT 研究会

後援：愛知県教育委員会 岐阜県教育委員会 静岡県教育委員会 三重県教育委員会 日本福祉大学 中日新聞社 中日新聞社会事業団

※当セミナーは「中日新聞社会事業団」の助成を受けて開催しております。

申込方法：<https://tokaiconfe2019.peatix.com>

Peatix(ピーティックス)で「東海特別支援教育カンファレンス」と検索!

※最新情報は東海特別支援教育カンファレンス facebook 公式ページをご覧ください

